

太田青年会議所 2026 年度 交流・国際室運営方針	
交流・国際室長理事 西村 愛美	
室の 基本方針	多様な交流の起点を創出し、メンバー同士・地域・世界をつなぐことで、互いの成長と次世代を育む基盤を築くことを目指します。
設置背景	<p>青年会議所の最大の力は、一人ひとりの人的資本にあります。その力を最大限に活かすためには、互いの資質や経験を理解し合い、信頼と共感に基づく関係を築くことが不可欠です。また、太田青年会議所には長い歴史を紡いでくださった先輩がいらっしゃいます。先輩との関係性を深めることは、組織としての結束を強め、活動の継続性を生み出す基盤となります。</p> <p>さらに、国を越えて広がる国際的なネットワークは、メンバーの成長だけでなく、次世代を担う若者へ貴重な原体験を提供できる大きな資産です。海外での体験は、異なる文化や価値観に触れるだけでなく、日本の魅力や課題を改めて見つめ直す契機ともなります。異文化交流を通じて得た気づきを自らの言葉で表現し共有することは、次世代に必要な発信力や主体性を育むうえで欠かせません。こうした学びの循環こそが、地域と世界をつなぐ活動の原動力であり、未来への投資となります。</p> <p>このように、交流と国際の両面を深めていくことこそが、組織の発展と次世代の育成に不可欠であり、継続して取り組むことが必要あります。</p>
設置目的	メンバー間・先輩・地域・海外との多様な交流の場を創出することで、組織の結束力と継続性を高めるとともに、次世代を育成するための原体験を提供することを目的とします。
委員会の 設置目的	<p>1. まちづくり委員会</p> <p>まちづくり委員会は、地域に必要な変化を自らの手で生み出し、地域の価値を高めていくために運動を展開することを目的とします。その目的のために、連携する主体と信頼に基づくパートナーシップを築き、互いの強みを活かしながら協働し、地域に必要な変化を創出します。</p> <p>2. 国際関係委員会</p> <p>青年会議所の国際ネットワークを活用し、異文化交流や多様な価値観に触れる機会を創出します。国際的なつながりを通じて得られる経験は、参加者の視野を広げ、自ら考え行動する力を育みます。こうした活動を通じて、地域の未来を担う人材の育成に寄与することを目的とします。</p>